

令和 6 年度

唐津・玄海圏域二級水系流域治水協議会

唐津・玄海地域の県管理河川大規模氾濫に関する減災対策協議会

3 市町の取組について

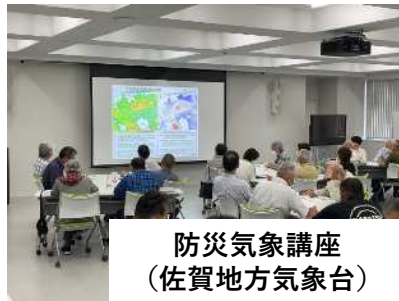
- ・ 唐津市
- ・ 玄海町

唐津・玄海圏域 二級水系流域プロジェクト【唐津市の取組】
～玄界灘にそそぐ多様な特徴を有する河川の流域における流域治水対策の推進～

防災パトロール



防災リーダーフォローアップ講座（全4回）



防災気象講座
(佐賀地方気象台)



被災地からの教訓
(まび記念病院)



土のうづくり
(SPF)



避難所運営
(男女共同参画地域みらいねっと)

各種防災教室



【成果】

□ 防災パトロール

関係機関と災害危険個所の共有を図ることができ、顔の見える関係を築くことができた。

□ 防災リーダーフォローアップ講座（全4回）

講座を継続して実施していくことで、防災リーダーの知識や技術の底上げをすることができ、地域防災力向上に寄与した。

□ 各種防災教室（防災講話）

小・中・高生を対象とした防災教室を行った。また、自治会や自主防災会、事業所等を対象とした水害に対する防災講話等も実施し、自助や共助の醸成を図った。

地域ミーティング in 唐津（宇木地区）



← 宇木公民館での開催

宇木上、宇木中、宇木下、東宇木の4地区から地域の代表者や住民、要配慮者（家族）が参加
※NHK共同開催



← 市からの情報提供

唐津市から宇木地区のハザード状況、個別避難計画の策定について説明



← 河川氾濫（恐れ）の映像
地元消防団が撮影した宇木川の映像を放映し、河川氾濫（おそれ）の危険性を共有



← 東宇木自主防災会の活動

地元公民館を一時避難場所に指定し、高齢者等が避難しやすい環境整備をした事例紹介

■地域ミーティングの主な目的

個別避難計画の策定: 高齢者や障害者など、自力での避難が難しい人々一人ひとりの状況に合わせた避難計画を事前に作成。

地域住民の連携: 要支援者（家族）、市職員、住民が一堂に会し、避難計画について話し合う機会を設けることで、相互の連携を強化。

地域の課題共有: 災害時の不安や課題を住民同士で議論し共有することで、地域全体の防災意識高揚。

■地域ミーティングでは、具体的な成果

避難時の課題と解決策の具体化: 参加者間で避難時の不安や課題（情報伝達の困難さ、避難所での不安、人手不足、トイレ問題、避難経路の安全性など）が共有され、それらの解決に向けた具体的なアイデア（定期的な集まりの開催、情報伝達担当者の選定、避難訓練の実施など）が出された。

地域全体の防災意識向上と連携強化: 参加者全員が災害時の具体的な行動について考え、地域全体で助け合うための第一歩を踏み出した。

唐津・玄海圏域 二級水系流域プロジェクト【玄海町の取組】

～玄界灘にそそぐ多様な特徴を有する河川の流域における流域治水対策の推進～

■防災パトロールの実施



成果

- 雨期前に災害危険箇所の確認を関係機関と実施することで、被害の軽減を図ることができる
- 関係機関と災害発生時などの協力体制の確認を行うことができる

■要配慮者利用施設との訓練



成果

- 避難実施計画に基づき、避難準備から避難先への移送確認等をおこなうことで、適切な判断力及び避難行動力が養える

唐津・玄海圏域 二級水系流域プロジェクト【玄海町の取組】

～玄界灘にそそぐ多様な特徴を有する河川の流域における流域治水対策の推進～

■ 自主防災組織、消防団(水防団)、防災リーダーの育成

防災訓練の実施



情報伝達訓練



住民避難訓練(自主防災組織)



消防団による広報訓練



消防団による「こえかけ」広報訓練



防災セミナー

成果

- タイムラインに基づく実践的な訓練を反復することで、行動を定着させることができる
- 逃げ遅れを防ぐための防災意識の啓発が図れる
- 各自が情報を入手し判断することの大切さを理解してもらう